

いざという時に慌てずに落ち着いて行動していただけるよう、準備に必要なチェックリストです  
施工率の多い仏式のご葬儀に合わせた内容となっております

## 事前 医師より死期間近である事を宣言された時

### チェック

- 喪主は誰になるかを決めておきます
- 病院より解剖の要請があった場合の対応を話し合っておきます
- 必要に応じて葬儀委員長の人選をしておきます
- 葬儀で遺影に使用する写真を選び出しておきます（ネガ・プリント・データ等）
- 訃報の連絡先を整理しておきます
- ご遺体を安置する場所を決め、ご自宅なら室内を整理しておきます
- ご遺体にお着せする寝巻・洋服等を用意しておきます
- シーツ（白無地）・枕（白無地）掛布カバー（白無地）を用意しておきます
- 家紋を調べておきます
- 喪服を確認・整理しておきます
- ご納棺時にお棺にお入れする副葬品を整理しておきます（燃える物）
- 予想されるお客様（人数）と式場との兼ね合いを協議し、葬儀を執り行う式場を検討します
- 菩提寺様が遠方または特に無い場合は相談しておきます（葬儀業者で手配も出来ます）
- 予算を検討しておきます
- 死亡届け記載に必要な本籍地をしらべておきます
- お香典・ご供花・ご供物をお受けするか決めておきます
- 必要に応じて寝台自動車の手配をしておきます（例：病院～ご自宅等）

## 事前 死去の連絡が入った場合

### チェック

- 近親者に連絡します
- 葬儀業者に連絡します
- 菩提寺に連絡します
  - 親族・会社等への連絡は日時・式場が決まってからの方が良いでしょう
- ご遺体の搬送
  - 病院には専属の葬儀業者が常駐している事が多く、何かしらのアプローチが有りますが、部分的でも依頼する必要は有りませんので、既に葬儀業者が決まっている旨をはっきりと意思表示してください
- 死亡診断書は病院からお帰りになるまでに忘れずに貰っておきましょう
- 枕経をして頂く場合は菩提寺様にその旨を連絡します
- 火葬場・霊柩車は予約順の受付になりますので、なるべく早めに希望日時を葬儀業者にお申し出ください
- 死亡届けは葬儀業者で代行致します。その際、認め印をお預かりする必要があります
- 分骨を必要とされる場合は前もって葬儀業者にお申し出ください。容器が必要になります
- 神棚を半紙で隠します（宗派によっては必要有りません）
- 枕団子と一膳ご飯を用意します（宗派によっては必要有りません）
- 葬儀用の遺影の原版を葬儀業者に預けます
- 会葬礼状の文案・枚数を葬儀業者に依頼します
- 返礼品を葬儀業者に依頼します
- 籠入生花や造花花輪を葬儀業者に依頼します
- 通夜・繰上げ初七日の食事や飲み物を葬儀業者に依頼します
- 家紋を正確に葬儀業者に知らせます
- 御礼の挨拶や献杯を誰にするか決めます

## チェック

中陰飾り（ご遺骨の安置台）は葬儀業者が用意します

中陰飾りはお納骨までお使いいただき、その後片付けに伺います

お納骨日時を決定します

ほとんどの方が七七日忌（49日）に合わせて行いますが、諸事情で五七日忌（35日）にされる方もいらっしゃいます

日時の決定は菩提寺様に相談しましょう

通知先の整理をします

通知と同時に出欠を確認します（電話・ファックス・書状等）

人数を菩提寺様に知らせます

石材店に日時を知らせます

墓誌への戒名彫りや納骨時のお手伝いの為

墓地が霊園の場合は霊園管理事務所へ、菩提寺様の場合は菩提寺様に依頼します

卒塔婆を依頼します（宗派によっては必要ありません）

精進落としの場所を決定します

精進落としの料理・飲み物を依頼します

御礼の挨拶や献杯を誰にするか決めます

返礼品を用意します

ご供花を依頼します（お内陣用・墓地用）

お供物を依頼します（お内陣用・墓地用）

墓地への移動にマイクロバスが必要な場合、早めに葬儀業者に依頼しましょう

お仏壇・本位牌を用意します（七七日忌法要に間に合うように）

ご葬儀の際使用している白木の位牌は仮位牌で、仏壇に納める漆塗や黒檀等で出来ている物を本位牌といたします

お仏壇が有る場合、七七日忌まで扉を閉めておきます（宗派によっては必要ありません）

納骨時に次の物を持参する（必要に応じて）

ご遺骨	本位牌	ご遺影	お布施
石材店の費用	料理屋の費用	各心づけ	白木位牌
仏壇のご本尊	卒塔婆の費用	霊園所定の書類	
ご供花の費用	お供物の費用	霊園管理事務所にお問い合わせください	
マイクロバスの費用			

その他ご希望に応じて出来る限りお手配いたしますので、何なりとお申し付けください



株式会社 自然葬祭



0120 - 70 - 2288